

症例で
身につける

消化器
内視鏡
シリーズ

食道・胃ESD

改訂版

contents

● 改訂の序	小野裕之	3
● 初版の序	小野裕之	5

基礎編 手技のコツとポイント

第1章 治療法選択のための術前内視鏡診断

1. ルーチン撮影法		
①咽頭～食道	角嶋直美	14
②胃	乾 哲也	18
2. 病変部の通常・色素内視鏡診断		
①食道	森田周子, 武藤 学	24
②胃	池原久朝	29
3. 画像強調・拡大内視鏡診断		
①食道	森田周子, 武藤 学	35
②胃 (NBI, BLI, i-Scan OEの原理)	上堂文也, 竹内洋司, 石原 立	41
4. 超音波内視鏡診断	前田有紀, 平澤 大	50


第2章 EMRとESDの適応

1. 食道EMRとESDの適応	田中雅樹, 小野裕之	55
2. 胃癌に対する内視鏡切除の適応	後藤田卓志	60

第3章 ESDの実際と基本手技～コツとピットフォール

1. インフォームド・コンセントの重要性とその内容	田辺 聡, 樋口勝彦, 堅田親利	65
2. 局注液の種類と特性	藤城光弘	68

 マークのある稿は、DVDで動画をご覧いただけます

3. 高周波発生装置と条件設定	森田圭紀	71
4. スコープの種類・機能・選択	炭山和毅, 田尻久雄	75
5. 麻酔・セデーション	阿部清一郎, 川口洋佑	79
6. ITナイフ1, 2およびnanoの違い・使用法	小野裕之	83
7. ITナイフによるESDの基本手技 		
①食道	蓮池典明	90
②胃	小田一郎	94
参考: ITknife nano を用いた大腸ESD	今井健一郎, 山口裕一郎	98
8. 看護師・内視鏡技師の役割	二ノ宮 歩, 須原真弓	103
9. 術中・術後管理	西元史哉	109
10. クリニカルパス	中島孝治, 小野裕之	112
11. 切除標本の取扱いのコツとピットフォール	二村 聡	116

第4章 偶発症対策




1. 術中・術後の出血対策	滝沢耕平	122
2. 穿孔対策	南 伸弥, 奥田敏徳, 早坂尚貴	127

実践編 Case Study: 部位別・難易度別攻略法

第1章 食道

	1. 頸部食道病変	角嶋直美	132
	2. 胸部下部食道病変	田中雅樹, 小野裕之	136
	3. 胸部中部食道病変	竹村健一, 土山寿志	140
	4. 全周性の病変	田中雅樹	145
	5. バレット食道癌	草野 央, 谷口浩和	149

第2章 胃

	1. 幽門輪近傍, 十二指腸浸潤例	滝沢耕平	156
	2. 前庭部前壁, 後壁	平良高一, 町田浩久	162
	3. 前庭部小彎	佐川 保, 佐藤康裕	166

難易度 普	4. 胃角小彎	西出憲史, 堀 伸一郎	173
難易度 普	5. 体下部前壁	中川昌浩	178
難易度 普	6. 体中部小彎	深尾俊一, 舟曳純仁	184
難易度 難	7. 体中部前壁	鈴木晴久, 谷口浩和	189
難易度 普	8. 体中部後壁	藤城光弘	194
難易度 難	9. 体上部前壁	小田一郎, 谷口浩和	199
難易度 難	10. 体上部後壁	土山寿志	205
難易度 普	11. cardia小彎	住吉徹哉, 近藤 仁	211
難易度 普	12. cardia後壁	粉川敦史	217
難易度 難	13. 体上部大彎	森田圭紀	220
難易度 超難	14. 胃底部	鈴木 翔, 後藤田卓志	225

第3章 大きな病変

難易度 普	1. 胃体下部から胃角部小彎の6 cm大の病変	野中 哲	231
-------	-------------------------	------	-----

第4章 潰瘍瘢痕のある症例

難易度 難	1. 食道遺残再発	川田 登, 蓮池典明	238
難易度 普	2. 胃癌軽度線維化	澤井寛明	243
難易度 難	3. 胃癌高度線維化	土山寿志	248
難易度 難	4. 術後残胃縫合線上	矢野友規	254

第5章 出血が生じた場合の対応・処置

難易度 普	1. 術中出血	加藤 穰, 道田知樹	259
難易度 普	2. 後出血	加藤 穰, 道田知樹	263

第6章 穿孔が生じた場合の対応・処置

難易度 難	1. 胃における微小穿孔・大きな穿孔	南 伸弥, 山田尚太, 中嶋千紗	267
難易度 難	2. 胃の非常に大きな穿孔	五十嵐公洋, 小野裕之	272
難易度 難	3. 食道穿孔	池原久朝	276

難易度 **普** 4. クリップ閉鎖後気腫への対処 (気腹への対処含む) 福永周生 280

第7章 その他の偶発症に対する対応・処置

難易度 **難** 1. 皮下気腫・縦隔気腫 桐山真典 285

難易度 **難** 2. 食道狭窄・胃狭窄 川田 登 293

索引 298

コラム

- 化学療法と内視鏡の接点 朴 成和 28
- ESDが早期胃癌治療に与えたインパクト (改訂版) 吉田茂昭 59
- ESDの開発・発展を見守って 斉藤大三 78
- ITナイフ事始め 細川浩一 89
- やっぱり今も下手 近藤 仁 115
- 消化管病変の内視鏡診断と病理所見 下田忠和 135
- 内視鏡医と臨床試験 ~The New Era?~ 福田治彦 144
- 耳目学問のすすめ 白尾国昭 253
- What's next? 大津 敦 262

注 実践編では各 Case Study にコメンテーターからの補足コメントがあります



切除法は必ずしも1つではありませんので、各症例についての「回答」の後に、その他の方法や補足等を解説しています。

本書コメンテーター (五十音順) :
小田一郎 / 小野裕之 / 後藤田卓志